問題番号 配点	正答例	採点のポイント
1 [問9]	P	○△ABCにおいて,辺ABの垂直二等分線を引き,辺ABとの交点となる点Pが 正確に示されている。
配点 6 点	В	
2 〔問 2 〕	X, Yを, それぞれ a , b , c を用いた式で表すと, $X = 100a + 10b + c$	○Xで表される3桁の自然数が, a, b, c を用いた式で適切に示されている。○Yが, a, b, c を用いた式で適切に示され
配点 7点	Y=c-b+a となる。 よって、 X-Y	ている。 ○X-Yの値が11の倍数になることが的確に 示されている。
	= (100a+10b+c) - (c-b+a) $= 99a+11b$ $= 11 (9a+b)$	
	9a+bは整数であるから、11 (9a+b) は11の倍数である。 したがって、 X-Yの値は11の倍数になる。	
4 〔問2〕 ①	△ABPと△ACQにおいて, 仮定から, △ABCと△ABDはともに 正三角形だから, AB=AC(1) ∠ABP=∠ACQ(2)	○正しいと認められる事柄について,根拠 を明確に記述し,仮定から結論を導く推 論の過程が的確に示されている。
配点 7点	仮定から、 ∠ P A Q = 60° ∠ B A P = ∠ P A Q − ∠ B A Q = 60° − ∠ B A Q	
	$\triangle ABC$ は正三角形だから $\angle BAC = 60^{\circ}$ $\angle CAQ = \angle BAC - \angle BAQ$ $= 60^{\circ} - \angle BAQ$	
	よって、	
夕 出北	△ABP≡△ACQ こおいて 採点のポイントを踏まえて『剖	

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準 ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- 「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「 \bigcirc ○と \triangle △が書かれている。(3点)」「 \bigcirc ○が書かれている。(2点)」「 \triangle △が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。